

多治見市内の 下街道ルート

商人や旅人たちの
往来に想いを馳せる



池田町は、
市内で最も古い歴史情
緒あふれるまちです。

オリベストリートには、昔の商家
や蔵を利用したギャラリーや飲食
店が多く立ち並んでいます。
ぜひ寄り道して、お気に入りの
お店を見つけてください。

①内津峠の道標



高さ45cm幅50cmの丸みをお
びた自然石で「右 廿原道
左 江戸善光寺道」の表示。

②内津の馬頭観音



高さ147cm幅76cmの観音は
馬と旅の安全を祈るため祀ら
れた。
馬車荷車を扱う愛岐組により明
治27年建立。

③津島神社・牛頭天王



牛頭天王(天皇)を祭神とした
インドの祇園精舎(釈迦が説法
を行った寺院)の守護神で、疫
病を防ぎ人々を救う神。
西の八坂神社、東の津島神社
に並び称される。

④石堂山永泉寺



曹洞宗の寺院、聖観音菩薩立
像は国重要文化財である。
境内の銀杏は1625年開山・運
山和尚のお手植えと伝えられ、
市の天然記念物に指定。

⑤池田町屋の常夜燈



文政9年(1826年)に建立。
高さ4.7mで4段の台石が重量
感を与える。下街道で一番の大
きさ。

⑥三叉路の道標(高札場跡)



明治12年・1879年に建立。
「右 東京せんこうじ道 左
き婦たにくみ道・左 なこやい
せ道」の道標。
隣接して大正11年建立の池田
村道路元標がある。

⑦堤防道(江戸時代までの道)



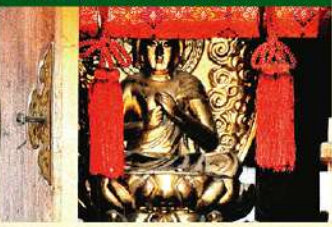
名古屋方面から池田町屋を通
過し、長瀬村を通り多治見橋を
渡る下街道は、土岐川右岸堤防
を通過していた。堤防は低く貧弱
で少しの出水で冠水し流された。
明治20年にながせ通りに付
け替えた。

⑧清水の地藏



安永3年・1775年の石碑。
昔はきれいな水が自噴し5坪ほ
どの池があり、飲んだり生活利
用していた。土岐川右岸の下街
道が冠水した時、常夜燈前の道
を通った。

⑨大日如来像



祠に納められた「大日如来像」
は、奈良唐招提寺より多治見の
住人が授かったとも伝えられる。
この如来の印相は、強い意志の
「智拳印」を組む。珍しいのは右
手(仏)と左手(人)が逆になって
いる。

⑩虎溪道標



下街道から虎溪山永保寺への
入口。
下街道が明治20年に土岐川堤
からながせ通りに付け替えられ
た。大正8年廿原村の山田駒吉
が建立した。

⑪屋根神様



ながせ通りの東端にある、山周
商店に屋根神様がある。
この社にはこの地方の風習で秋
葉権現と津島様が祀られてい
る。年に一度のお祭りがある。

⑫多治見橋



下街道が通るこの橋は、明治初
期まで冬は木橋、夏は渡し舟、明
治13年明治天皇行幸の時、木造
橋が架橋されたが翌年洪水で
流された。明治19年地元の豪商
4代目西浦圃治が私財で架橋。
昭和12年コンクリート橋となる。

⑬多治見国長邸跡



美濃守護・土岐頼貞の同族、後
醍醐天皇による鎌倉幕府倒幕
計画に参加するが、一族の妻の
密告で非業な死をとげる。正中
の変: 正中元年・1324年9月

⑭西浦庭園 行在所跡



江戸末期から明治にかけて西
浦焼で名を成し、町の発展に貢
献した西浦圃治。
明治13年6月29日明治天皇巡
幸の時に難れに宿泊され、その
建物は京都の宝篋院に移築。

⑮陶都創造館



陶磁器をはじめとする地場産
業・市民活動の活性化のための
複合商業施設で多治見市PR
センター、伝統的な美濃焼、若
手陶芸作家の手造り作品、和食
器、洋食器等の店舗が並ぶ。

⑯秋葉山常夜燈



文化9年・1812年に建立、多治
見の東入口を燈す明かり。
津島神社と秋葉神社が併座、疫
病と防火対策を祈願。

⑰神明神社



明応8年・1499年 新羅神社の
境内社として祀られ、明治14年
この地に遷座された。天照大神
を祭祀している。
日露戦争の忠魂塚が立っている
処を神明社古墳跡・横ヶ根古墳
跡とも呼ぶ。

⑱東町道標



自然石の道標は、虎溪山道標
として東町の生田峠にあった。
国道19号線整備工事で多治見
市役所前庭へ移設。道標には、
「是よりこけいみち」「虎溪山道」
「池田へすぐぢあ里」と刻銘。

ボランティアガイドが現地をご案内します。
お気軽にお申し込み下さい。

お問い合わせ

多治見観光ボランティアガイド(多治見駅観光案内所内)
多治見市音羽町2丁目 TEL 0572-24-6460

